

## ●取締役

代表取締役社長	大橋 洋一
取締役	川崎 健司
取締役	村嶋 純一
取締役	湯浅 一生
取締役（監査等委員・常勤）	木下 高志
取締役（監査等委員）	江口 直也
取締役（監査等委員）	神谷 和彦

（注）取締役村嶋純一、取締役（監査等委員）江口直也および神谷和彦の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

## ●執行役員

執行役員社長 （営業本部長）	大橋 洋一
執行役員副社長 （社長補佐、コーポレート本部長 兼 コンポーネント・モジュール事業本部長）	川崎 健司
執行役員常務 （プロダクト事業本部長）	池田 憲俊
執行役員常務 （基盤技術・QA本部長 兼 基盤技術・QA本部全固体電池事業推進準備室長）	庄瀬 知行
執行役員常務 （コーポレート本部副本部長）	長野 良
執行役員 （営業本部長代理 兼 営業本部第一営業統括部長）	古瀬 彰宏
執行役員 （営業本部第二営業統括部長）	岡本 裕之
執行役員 （コーポレート本部CSR・コンプライアンス統括部長）	平野 芳晴
執行役員 （プロダクト事業本部アルカリ電池事業部長）	下園 浩史
執行役員 （コーポレート本部ビジネス推進統括部長）	渡辺 伸之
執行役員 （プロダクト事業本部ニッケル水素電池事業部長）	柳川 浩章

## ご参考 トピックス

### ■世界最高水準の高電圧（3.0V）、SMD対応小型全固体電池を開発

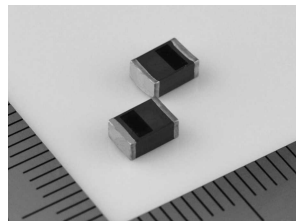
当社は、株式会社富士通研究所（代表取締役社長：古田英範）と共同で2017年2月に開発したピロリン酸コバルトリチウム（ $\text{Li}_2\text{CoP}_2\text{O}_7$ ）を用いた3.0V出力可能なSMD対応小型全固体電池を2018年12月に開発し、サンプル出荷を開始いたしました。

IoT機器やウェアラブル端末などさまざまな電池を搭載するアプリケーションが拡大、進展するなか、それらに適合するための電池に対する要求仕様はますます多様化しており、特に高エネルギー密度化や安全性向上に対するニーズが高まっています。これらのニーズに応える次世代電池として全固体電池は各市場から注目されており、当社は高エネルギー密度、高安全性、長寿命などの特徴を有する電池として、ピロリン酸コバルトリチウムを用いた全固体電池の開発を進めてまいりました。

同開発品は、IoT機器やウェアラブル機器、RTC（Real Time Clock）、SRAM/MCUなどの半導体関連製品に加え、従来の電解液を使用した電池では適用困難な過酷な環境下（高温、真空など）で使用される産業機器や車載電装機器などでも安全・安心に電力を供給します。

さらに、2019年4月には、2018年12月のサンプル品に比べて、電池容量が3.5倍の500 $\mu\text{Ah}$ 、体積エネルギー密度は2.5倍の65Wh/Lにそれぞれ高めた高容量化品を開発し、同年5月より出荷を開始いたしました。

当社は、今回開発したサンプル品の出荷と並行し、引き続き全固体電池の開発と2020年度からの量産に向けた対応を進めてまいります。



4月 >>> 5月 >>> 6月 >>> 7月 >>> 8月 >>> 9月 >>> 10月 >>> 11月 >>> 12月 >>> 1月 >>> 2月 >>> 3月

### ■FDK + ASKUL 放り込むだけでラクに充電！

#### ニッケル水素電池専用自動充電器「Easy Charger」発売

当社は、アスクル株式会社（代表取締役社長：岩田彰一郎、以下「アスクル」）が企画し、当社が開発、製造したニッケル水素電池専用自動充電器「Easy Charger」を2018年9月から販売を開始いたしました。

本商品は、ニッケル水素電池の向き（+極、-極）を気にせず投入口に放り込むだけで充電ができる、劣化したニッケル水素電池やアルカリ乾電池などの充電式電池以外は充電されず別の排出口に自動排出されるといった特長をもつ自動充電器です。

本商品は、お客様のニッケル水素電池に対する「充電の手間が面倒」「充電してもパワーが続かない」といったお声を受け、お客様に関する膨大なデータを有するアスクルと電池技術のリーディングカンパニーである当社が試行錯誤を繰り返すことにより、不満点上位の“充電時の手間”と“充電後のパワー不足”を解消し、これまでのニッケル水素電池の充電器を超える使い勝手を実現いたしました。



### ■国内外で各種電池・電子製品をご紹介

当社は、当社グループが注力する領域であるIoT・モビリティ・社会インフラ市場に応える各種電池・電子製品を国内外の展示会でご紹介いたしました。

2018年11月には、ドイツ・ベルリンで開催された民生用エレクトロニクス・IT機器の展示会「ELECTRONICA」において、ニッケル水素電池や蓄電システム、リチウム電池などを出展いたしました。また、2019年1月に東京ビッグサイトで開催された「ウェアラブルEXPO」では、2018年12月に開発いたしましたSMD対応小型全固体電池や薄形一次・二次電池、リチウム電池残量表示システムなどをウェアラブル機器の設計者および技術者向けにご紹介いたしました。

上記のほか、2019年2月に開催された「バッテリージャパン」に本年も引き続き出展し、SMD対応小型全固体電池などを中心に各種電池をご紹介いたしました。注目度の高い製品を展示したことで、3日間延べ人数で昨年比120%増と、当社ブースは非常に多くのお客様で賑わいました。

今後も当社は各種展示会への出展や協賛を通じて、市場、お客様のニーズの把握と当社ブランドの認知度向上に努め、“電気エネルギーを効率的に利用する技術でグローバルに社会に貢献”する「スマートエナジーマネージャー」として“One FDK”でサービス・価値を提供してまいります。



# メモ欄

株主の皆様へ

▶ 1

事業報告

▶ 2

連結計算書類

▶ 17

計算書類

▶ 25

監査報告書

▶ 31

ご参考

▶ 34

A series of 20 horizontal dashed lines for writing.